

行政視察報告

委員会名	建設環境委員会		
視察日	令和7年5月14日（水）		
視察先	広島県広島市		
視察委員	うてな 英明 委員長 伊藤 よしのり 委員 中 村 けいこ 委員 つ た えりな 委員	安西 まさのぶ 副委員長 岩田 よしかず 委員 木 村 ひでこ 委員	秋 本 とよえ 委員 下山 しんいち 委員 夏 目 佳代子 委員

調査項目	Park-PFI制度を活用した公園整備について
------	-------------------------

事業概要	<p>ひろしまゲートパークプラザ 令和5年3月末、広島県広島市の旧市民球場跡地に広島都心部において新しい価値を市民に提供し続ける公園として、広島市初の「Park-PFI（公募設置管理制度）」により整備された。</p> <p>中央公園広場エリア サッカースタジアムの建設に伴い「広島市域のみならず、県内外から広く集客すること」「県内外から集客した効果が県内各地に及ぶこと」を目的にPark-PFIにより整備された。</p>
------	--

民間活力の導入
【背景】

- ・公園施設の老朽化が進行、施設の魅力が低下
- ・人口減少による行政の財政制約等が深刻化
- ・都市公園の質を向上させることが課題

↓

- ・民間の優良な投資を誘導
- ・公園管理者の財政負担の軽減
- ・都市公園の質の向上

多くの人が集まり、人気がある施設は公だけでは実現できない。
→まちを育てる担い手である「民」との「公民連携が」重要

視察内容	ひろしまゲートパークプラザ
------	---------------

面積	約 42.8ha（うち、事業対象面積約 4.7ha）
事業費	特定公園施設の設計・整備費 12億9,800万円 （市負担額：11億6,820万円、業者負担額：1億2,980万円）
事業期間	令和4年4月1日～令和24年3月31日（20年間）
指定管理期間	令和5年3月31日～令和24年3月31日
指定管理費用	令和5年度 約7,750万円/年（市負担額：4,650万円/年）

中央公園広場エリア	
面積	約 42.8ha（うち、事業対象面積約 5.2ha）
事業費	特定公園施設の設計・整備費 2億6,939万円 （市負担額：2億4,245.1万円、業者負担額：2,693.9万円）
事業期間	令和5年8月1日～令和25年7月31日（20年間）
指定管理期間	令和6年2月1日～令和25年7月31日
指定管理費用	令和7年度 1億1,664.5万円/年（使用料収入：約2,560万円/年）

行政視察報告

委員会名	建設環境委員会		
視察日	令和7年5月15日（木）		
視察先	広島県広島市		
視察委員	うてな 英明 委員長 伊藤 よしのり 委員 中 村 けいこ 委員 つ た えりな 委員	安西 まさのぶ 副委員長 岩田 よしかず 委員 木 村 ひでこ 委員	秋 本 とよえ 委員 下山 しんいち 委員 夏 目 佳代子 委員

調査項目	かわまちづくりについて
------	-------------

事業概要	広島市は、瀬戸内海に面し、中心部を6本の川が流れる「水の都」であり、美しい水辺に恵まれている。また、その魅力を生かして、河川空間において、従来規制されてきた民間による商業的な利活用を全国でも初めて可能とし、現在、水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入した「水辺のオープンカフェ」を実施している。
------	---

視察内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>水辺のオープンカフェの取組 河川敷地占用許可準則の改正</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>施設の設置</p> <p>《従来の占用施設》 公園、緑地等 道路、水道、水防施設等 船着場、漁港施設等</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">+</div> <div style="width: 45%;"> <p>《改正後の占用施設》 広場、イベント施設、船着場等 上記と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ等 日よけ、船上食事施設、川床等</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>施設の運営</p> <p>《従来》 公的な社会実験として ①非営利で ②期間限定で ③仮設的な施設で実施</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">→</div> <div style="width: 45%;"> <p>《改正後》 一定条件の下 ①民間事業者による営利事業 ②継続的 ③常設施設</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「水の都ひろしま」構想</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水辺などにおける都市の楽しみ方の創出 ② 都市観光の主要な舞台づくり ③ 「水の都ひろしま」にふさわしい個性と魅力ある風景づくり <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① つかう：市民による水辺の活用 ② つくる：水辺空間の整備とまちづくりとの一体化 ③ つなぐ：水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>地先利用型の主な出店条件</p> <p>〔出店事業者〕 河岸緑地に隣接する民有地内の建築物の1階でカフェ等を営み、緑地と一体的に利用する事業者</p> <p>〔利用区域〕 敷地間口幅と奥行6mの積を最大とする</p> <p>〔公益的施設の設置〕 公開空地、通り抜け通路、市民トイレのいずれかを整備・提供</p> <p>〔緑地の清掃〕 周辺緑地の定期清掃</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>独立店舗型の主な出店条件</p> <p>〔営業期間〕 最長10年間</p> <p>〔営業時間〕 最長 午前7時～午後11時まで</p> <p>〔店舗構造〕 鉄骨造、平屋建</p> <p>〔費用負担〕 店舗工事は出店者負担、区画への電気・上下水道の引込、圍路舗装は市で整備</p> <p>〔緑地の清掃〕 周辺緑地の定期的清掃</p> <p>〔事業協賛金等〕 店舗（建築物）部分 13,090円/㎡・年 交流ゾーン部分 2,400円/㎡・年</p> </div> </div>
------	---

行政視察報告

委員会名	建設環境委員会		
視察日	令和7年5月16日（金）		
視察先	広島県広島市		
視察委員	うてな 英明 委員長 伊藤 よしのり 委員 中 村 けいこ 委員 つ た えりな 委員	安西 まさのぶ 副委員長 岩田 よしかず 委員 木 村 ひでこ 委員	秋 本 とよえ 委員 下山 しんいち 委員 夏 目 佳代子 委員

調査項目	ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について
事業概要	<p>湖南市は、環境省から第2回脱炭素先行地域に選定されている。市内対象地域の市・県の公共施設・福祉施設・児童福祉施設等、及び工場、住宅に太陽光発電設備や蓄電池を導入するとともに、林福連携事業、また、マイクログリッドの構築を通じて、脱炭素化を図るとともに、地域経済の活性化を目指している。また、地元金融機関である株式会社滋賀銀行と連携し、PPA事業・省エネサービス事業にも積極的に取り組んでいる。</p>
視察内容	<p>京都議定書COP3が締結された1997年（平成9年）に全国初となる事業性を持った市民共同発電所が稼働した。 市民が「地球温暖化防止に自分たちでできる行動を！」と出資して太陽光発電を設置した。</p> <p style="text-align: center;">一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト 事業スキーム</p> <p>脱炭素先行地域づくり事業 主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆個人住宅への太陽光・蓄電池導入事業 太陽光+蓄電池の導入 500件 ◆公共施設の脱炭素化事業 太陽光・蓄電池の導入、高効率機器の導入、EV導入 ◆福祉施設の脱炭素化事業 太陽光・蓄電池の導入、高効率機器の導入、EV導入 ◆運輸・産業部門の太陽光導入事業 オンサイトPPAによる民間企業への太陽光導入 20件
主な質疑内容	<p>(問) こなんウルトラパワー株式会社について、安定した収益につながっているのか。 (答) 独自の電源を確保しているので赤字にはなっていない。 公益施設が主な顧客である。</p> <p>(問) 耐用年数経過後の太陽光パネルの取扱いについて伺う。 (答) 個人宅への設置事例が少ないので何とも言えないが、無償譲渡を受けるかどうかそのときに選択できる。</p>